

# 令和3年度 事業報告書

I 法人の概要

II 事業の概要

III 財務の概要

学校法人高木学園

福岡県福岡市早良区百道浜三丁目6番40号

# 令和3年度 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指す。医療福祉教育における各専門職の隔壁を外し、医療や福祉の専門職を目指す学生が共に学び、自らの専門に加え、常に自分の専門以外の幅広い知識や他人に対する優しい心を養うことが重要との考えの下、多彩な医療福祉専門職の育成とその地位向上を目的とする。

### (2) 学校法人の沿革

学校法人高木学園は、福岡国際医療福祉大学・専門学校柳川リハビリテーション学院・大川看護福祉専門学校を有する学校法人である。特に、専門学校柳川リハビリテーション学院は、私学のリハビリテーションの養成校として、1990年に福岡県内で初めて誕生した伝統校である。

当法人は西日本のリハビリテーション医療をリードする優秀な人材を養成し続け、これまでに7,000名以上の卒業生を輩出してきた。

1990年4月	柳川リハビリテーション学院	・厚生省より理学療法士20名、作業療法士20名の養成施設として指定を受ける ・福岡県初の私学のリハビリテーション養成校として開校
	大川看護福祉専門学校	・大川看護学院を開校 課程：看護婦科2年課程
1992年3月	大川看護福祉専門学校	・大川看護専門学校に改称
1993年4月	柳川リハビリテーション学院	・入学定員変更（理学療法・作業療法学科定員40名）（夜間部理学療法・作業療法学科定員20名）
1997年4月	柳川リハビリテーション学院	・医療言語聴覚学科開設
1999年4月	柳川リハビリテーション学院	・学科名変更（医療言語聴覚学科から言語聴覚学科）
2001年4月	大川看護福祉専門学校	・介護福祉学科（2年課程）を開設。学校名を大川看護福祉専門学校に改称
	福岡国際医療福祉学院	・厚生労働省より理学療法士40名・作業療法士40名・言語聴覚士40名・視能訓練士40名の養成施設として指定を受ける ・福岡国際医療福祉学院を開校
2003年4月	福岡国際医療福祉学院	・厚生労働省より理学療法士（夜間課程）40名・作業療法士（夜間課程）40名の養成施設として指定を受ける
2005年4月	大川看護福祉専門学校	・看護学科（3年課程）を開設
2008年4月	福岡国際医療福祉学院	・福岡市早良区に移転。看護学科開設
2019年4月	福岡国際医療福祉大学	・福岡国際医療福祉大学開学
2020年3月	福岡国際医療福祉学院	・福岡国際医療福祉学院閉校
2020年10月	福岡国際医療福祉大学	・文部科学省より国際医療福祉大学福岡看護学部を本学に移管する設置変更の認可を受ける
2021年4月	福岡国際医療福祉大学	・看護学部看護学科開設

### (3) 設置する学校・学部・学科等

(令和4年3月31日現在)

福岡国際医療福祉大学 (福岡県福岡市早良区百道浜三丁目 6-40)	医療学部 (4年課程)	理学療法学科
		作業療法学科
		視能訓練学科
	看護学部 (4年課程)	看護学科
		言語聴覚専攻科 (2年課程)
専門学校柳川リハビリテーション学院 (福岡県柳川市上宮永町 116-1)	理学療法学科 (3年課程)	
	作業療法学科 (3年課程)	
	言語聴覚学科 (3年課程)	
大川看護福祉専門学校 (福岡県大川市酒見 391-5)	看護学科 (3年課程)	
	介護福祉学科 (2年課程)	

### (4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和4年3月31日現在)

学校名			入学定員	入学者数	収容定員	現員数
福岡国際医療福祉大学	医療学部	理学療法学科	40	43	160	133
		作業療法学科	40	44	160	132
		視能訓練学科	40	44	160	125
	看護学部	看護学科	100	111	400	429
	言語聴覚専攻科		40	28	80	54
小計			260	270	960	873
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法学科	40	43	120	121	
	作業療法学科	40	25	120	77	
	言語聴覚学科	40	29	120	79	
	小計		120	97	360	277
大川看護福祉専門学校	看護学科	40	37	120	125	
	介護福祉学科	40	16	80	23	
	小計		80	53	200	148
合計			360	420	1,520	1,298

### (5) 役員の概要 (令和4年3月31日現在)

理事 8名 (定数 5～8名)  
 監事 2名 (定数 2名)  
 評議員 17名 (定数 11～17名)

## (6) 教職員の概要

(令和4年3月31日現在)

福岡国際医療福祉大学	教員	80名(教授30名、准教授14名、講師20名、助教16名)
	職員	54名
専門学校	教員	17名
柳川リハビリテーション学院	職員	12名
大川看護福祉専門学校	教員	12名
	職員	7名

## 2. 事業の概要

### (1) 主な教育・研究の概要

#### ● 福岡国際医療福祉大学

##### ① 本学の特長を生かした教育の実施

本学は、保健、医療、福祉の分野において、高い知識と優れた技能、そして科学的・創造的探究心と豊かな人間性を備えた、時代のニーズや地域医療に貢献できる専門職を養成することで、基本理念にある「共に生きる社会」の実現を目指すものである。

令和3年4月に国際医療福祉大学から福岡看護学部を移管し、看護学部看護学科が開設されたことに伴い、「チーム医療・チームケア」の学びを更に深めることができる環境となった。豊かな人間性を育むリベラルアーツに重きを置いたカリキュラムを編成し、コミュニケーション能力や問題解決能力等の向上を目指した教育を行っている。

##### ② 学生への支援活動体制

- アドバイザー制度を採用し、学生の学修や生活に関する相談や指導について、定期的な学生面談や教員間の情報共有を実施した。
- 学年横断の学修機会を設け、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上とともに学生間の交流を促進した。
- 単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施した。
- 新型コロナウイルスの影響により、ハイブリット授業（対面とオンラインの併用）を実施した。
- 学生の自治組織である学友会について、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が難しい状況での運営の助言を行った。
- 本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。特にPCR検査費用など、新型コロナウイルス感染症対策の支援も行った。
- 学生相談室を設置し、カウンセラーにより相談体制を整えている。

##### ③ 教職員の資質向上のためのFD・SDの実施

福岡国際医療福祉大学FD・SD推進委員会を設置し、この委員会での審議に基づき、FD・SDに係る取組みを展開した。また、FD・SD推進委員会は教務委員会と連携し、教育の質の向上を目指している。

○令和3年度FD・SD活動実績

開催日	講演テーマ
令和3年4月26日	広報に関するセミナー「大学広報の基本」
令和3年4月28日	2021年度研究倫理研修「医学研究と生命倫理」
令和3年5月12日	2021年度コンプライアンス研修「研究費の運営・管理に係わるコンプライアンス研修」
令和3年5月13日	教学マネジメントに関するセミナー「いま全大学に求められる『教学マネジメント推進者』」
令和3年5月28日	学生募集広報に関するセミナー「コロナ禍2年目の学生募集広報」
令和3年6月4日	広報に関するセミナー「マスメディアから見る大学広報」
令和3年6月9日	2021年度公的研究説明会
令和3年6月16日	大学改革を担う全職員に“いま”必要な高等教育政策リテラシーとオンラインSD
令和3年6月18日	大学経営を巡る課題と展望ーガバナンスに関する有識者会議の報告を受けてー
令和3年7月6日	“いま”全大学に必須『学修成果・教育成果の可視化』と『アセスメントプランの策定』
令和3年7月9日	大学広報オンラインセミナー「九州地方の大学広報事例に学ぶ」
令和3年7月13日	地域連携プラットフォーム等の構築促進に向けたシンポジウム「大学の力を活用した地方創生に向けて」
令和3年7月19日	令和3年度著作権セミナー
令和3年7月27日	学校におけるDX推進事例～新潟大学が語る！RPAの全学展開と各部署での取り組みとは～
令和3年8月24日	第1回教員研修会「人権（差別）に関する研修」
令和3年8月31日	大学職員として押さえるべき基礎知識シリーズ「私学助成」
令和3年9月2日	大学職員として押さえるべき基礎知識シリーズ「国際業務の基礎知識～外国人留学生受入について」
令和3年9月3日	大学職員として押さえるべき基礎知識シリーズ「教務課業務の基礎知識」
令和3年9月6日	新型コロナウイルス最新事情と感染対策
令和3年9月9日	学生とともにつくる“新しい日常”ー学生相談・学生支援のこれからー
令和3年9月13日	令和3年度大学質保証フォーラム「オンライン教育の支援と質保証ーコロナ時代を越えて」
令和3年9月14日	第2回教員研修会「学生の特性を踏まえた効果的な実習指導に関する研修」
令和3年9月21日	海外大学と連携した授業実施とその基礎技術
令和3年9月28日	数理・データサイエンス・AI教育に関する情報整理
令和3年10月14日	新しい時代の大学経営・運営における事務職員の在り方を考える～コア・コンピテンシーの再確認、それを担うための人材育成・活用・評価～
令和3年10月22日	第6回大学教育イノベーションフォーラム「若手からみた大学教育とFD・SDの未来」

令和3年10月27日	I R担当者の視点から教学マネジメントを考えるオンラインセミナー
令和3年11月2日	大学のデジタルトランスフォーメーション（DX）と学生生活
令和3年11月5日	私立大学の教育・研究充実に関する研究会
令和3年11月8日 ～11月19日	2021年度コンプライアンス研修「一般職員パワーハラスメント防止研修」・「役職者パワーハラスメント防止研修」
令和3年11月9日	I D E 高等教育研究フォーラム「大学職員は変わったか」
令和3年11月30日	認証評価研修会「第1回 大学認証評価の概要」
令和3年11月30日	令和3年度私立大学教育研究充実協議会
令和3年12月7日	認証評価研修会「第2回 中期目標・中期計画と内部質保証の機能性」
令和3年12月10日	令和3年度学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー
令和3年12月27日	看護基礎教育 カリキュラム改正の概要
令和4年1月18日	認証評価研修会「第3回 PDCA サイクルに基づく学修成果の点検・評価結果のフィードバック ―DP・CP・APの一体的策定―」
令和4年2月17日	第3回教員研修会「オープンな教育リソースについて」
令和4年3月23日	第4回教員研修会「グッドティーチング賞表彰式及び報告会」

④国家試験等合格状況（別表1）

看護学科（看護師・保健師）、言語聴覚専攻科（言語聴覚士）において、全国合格率を上回る結果となった。

⑤就職状況（別表2）

看護学科及び言語聴覚専攻科において、就職希望者全員が就職となった。今後も丁寧な指導を行い、就職率100%達成を目指す。

⑥研究活動に係る外部資金獲得状況

【令和3年度実績】

（単位：千円）

項目	交付件数	交付金額
文部科学省科学研究費	19	25,740
共同研究費	1	234
研究助成（公募）	2	2,900
合計	22	28,874

⑦入学者選抜

○入学試験結果（令和3年度実施）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
医療学部				
理学療法学科	40	278	76	43
作業療法学科	40	106	70	44
視能訓練学科	40	142	59	44
看護学部				
看護学科	100	672	186	111
言語聴覚専攻科	40	30	29	28
計	260	1,228	420	270

## ○志願者確保の方策

春先はコロナ禍による緊急事態宣言下での活動のため苦戦を強いられたが、進学情報誌・WEB媒体の積極的な活用に加え、会場型・高校内の進学ガイダンスに参加した。高校内出張講義及び大学見学会の受入を行い、昨年同様、北部九州（山口・福岡・長崎・大分）及び鹿児島を強化エリアとして九州・山口地区高校訪問を実施し、加えて、熊本・宮崎も新規の訪問を行い、参事・教員で年間約1,800校を訪問するに至った。

学内イベントとして高校教員対象大学説明会を1回開催（全2回のうち1回中止）し、計56校64名の参加があった。オープンキャンパスは5回開催し、全学部を通して延べ1,182名参加。うち1回をWEB開催とし、遠方の生徒・保護者等、来校しづらい方にも善処し好評を得た。

また、一般入試前期地方試験実施都市（山口・長崎・大分・鹿児島）において入試説明会を開催した。さらに、本学（福岡会場）での開催を増やし、昨年以上の来場者数となった。

### ⑧学生によるボランティア活動や地域行事への参加

新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛

### ⑨地域との交流関係

新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛

### ⑩社会的活動

新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛

### ⑪自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会において、学内に設けられている各委員会及び学科・専攻科ごとの活動内容をまとめ、点検整備した上で2020年度自己点検・評価報告書を作成した。また、教員の教育・研究活動等については2020年度年報として2020年度自己点検・評価資料集「ザ・フクオカ」を作成した。いずれも本学ホームページを通じて公表している。

## ● 専門学校柳川リハビリテーション学院

### ①本学院の特長を生かした教育の実施

本学院は、多様化する医療・福祉の分野において、高い専門知識・技術及び社会的スキルを教授し、あわせて豊かな心と自律性を育み、チーム医療ひいては社会に貢献し得る人材を育成することを目指している。

本学院は、柳川リハビリテーション病院等の近隣のグループ施設と連携しながら、3年間で即戦力となる臨床家を育成している。

### ②学生への支援活動体制

○遠隔地の学生のために学生寮を保有している。

○最寄り駅から本学院までスクールバスを運行している。

○新型コロナウイルス感染症の影響により学院祭に替わる学生主催の学生交流会の開催を支援した。

○単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施した。

○本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。

### ③教職員の資質向上のためのFD・SDの実施

FD活動は、柳川リハビリテーション学院FD委員会を設置して取り組むこととしており、SDについても当委員会での審議に基づき、取り組みを展開している。

#### ○令和3年度のFD活動実績

・3科合同症例検討会を3回実施し、多職種理解を促した。

### ④国家試験等合格状況（別表1）

全学科において、全国合格率を上回る結果となった。引き続き、各学科において国家試験に向けた教育及び対策について継続して分析・検討を行い、きめ細かなサポート体制をとっていく。

### ⑤就職状況（別表2）

全学科において100%の就職率を達成した。今後も学科教員による丁寧な個別指導はもとより、キャリア支援担当者のサポートを行うことで学生の長所を生かせる就職先へ導くことを目指す。

### ⑥入学者選抜

#### ○入学試験結果（令和3年度実施）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
理学療法学科	40	50	45	43
作業療法学科	40	26	26	25
言語聴覚学科	40	33	30	29
計	120	109	101	97

#### ○志願者確保の方策

早期受験生獲得のために、オープンキャンパス連動型入試「エントリー制AO入試」を中心にPRを実施。オープンキャンパスに来れない方へは個別相談会を実施しエントリーAO入試の志願者を確保した。指定校の増枠と定期的な高校訪問により九州全域からの受験者獲得を試みた。学生寮の拡充による遠隔地出身者へのフォロー、パンフレット等の早期配布、夏季オープンキャンパス動員のためのWEB広告などを実施した。

### ⑦自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会を設置しており、年度ごとに各学科の活動内容や学生募集状況等をまとめ、点検整備し、毎年5月に本学院ホームページ上で公表している。

## ● 大川看護福祉専門学校

### ①本校の特長を生かした教育の実施

本校は愛と誠実を全ての基として自主的精神を重んじ、“命の尊厳”“命の平等”を具現する感性豊かな人を育成することを教育理念とし、看護師、介護福祉士として必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、温かな心と倫理観をもち、誇りをもって保健・医療・福祉に貢献できる人を育てることを目標としている。

### ②学生への支援活動体制

○専門カウンセラー（臨床心理士）に相談できる、こころの相談室を開設している。

○チューター制度を採用し、学生の学修や生活に関する相談や指導を実施している。

○単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグル

ープ学習による指導を実施している。

○本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。

③国家試験等合格状況（別表 1）

両学科において、全国合格率を上回る結果となった。国家試験合格率 100%に向けた教育及び対策について継続して分析・検討を行い、きめ細かなサポート体制をとっていく。

④就職状況（別表 2）

両学科において 100%の就職率を達成した。今後も学科教員による丁寧な個別指導はもとより、キャリア支援担当者のサポートを行うことで学生の長所を生かせる就職先へ導くことを目指す。

⑤入学者選抜

○入学試験結果（令和 3 年度実施）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
看護学科	40	90	59	37
介護福祉学科	40	23	23	16
計	80	113	82	53

○志願者確保の方策

オープンキャンパス（学校説明会）を頻回に実施した。北部九州を中心に年間のべ 1,000 校の高校訪問を実施。夏季オープンキャンパス動員に向けたWEB 広告を実施し、看護学科は昨年を上回る参加者となった。介護福祉学科は留学生入国の目途が立たなかったため留学生別科と協力し日本語学校訪問やオンライン説明会などを実施した。

⑥自己点検・評価の実施

「自己点検・自己評価」を毎年 5 月までに実施し、本校ホームページに掲載し公開している。

(別表 1) 国家試験等合格状況

学校名	資格名	本学合格率	全国合格率
福岡国際医療福祉大学	看護師	98.9%	91.3%
	保健師	100.0%	89.3%
	言語聴覚士	95.8%	75.0%
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法士	86.7%	79.6%
	作業療法士	87.5%	80.5%
	言語聴覚士	81.3%	75.0%
大川看護福祉専門学校	看護師	97.4%	91.3%
	介護福祉士	94.4%	72.3%

※ 本学合格率は、令和4年3月卒業生の合格率

(別表 2) 就職状況

学校名	学科	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率
福岡国際医療福祉大学	看護学科	96	88	88 (20)	100%
	言語聴覚専攻科	25	22	22 (1)	100%
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法学科	31	25	25 (4)	100%
	作業療法学科	25	21	21 (7)	100%
	言語聴覚学科	18	13	13 (2)	100%
大川看護福祉専門学校	看護学科	38	38	38 (25)	100%
	介護福祉学科	18	18	18 (18)	100%

※ 就職率は、就職希望者に対する就職決定率の割合

※ 就職決定者数欄の ( ) 内はグループ関連施設に就職した人数

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ①貸借対照表関係

##### ア)貸借対照表の状況と経年比較

(単位：百万円)

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
固定資産	7,020	7,326	7,298	8,364	8,483
流動資産	2,404	3,134	3,036	2,749	3,345
資産の部合計	9,424	10,461	10,334	11,113	11,828
固定負債	39	37	43	55	59
流動負債	601	871	1,021	1,769	1,967
負債の部合計	640	908	1,064	1,824	2,026
基本金	8,615	8,616	8,916	8,987	10,475
繰越収支差額	169	937	353	302	△ 673
純資産の部合計	8,784	9,553	9,270	9,289	9,802
負債及び純資産の部合計	9,424	10,461	10,334	11,113	11,828

##### イ)財務比率の経年比較

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
運用資産余裕比率	189.9%	270.4%	228.6%	208.3%	196.8%
流動比率	399.8%	360.0%	297.4%	155.4%	170.1%
総負債比率	6.8%	8.7%	10.3%	16.4%	17.1%
前受金保有率	528.9%	561.7%	408.6%	179.2%	197.9%
基本金比率	100.0%	100.0%	99.6%	99.7%	100.0%

##### ②資金収支計算書関係

##### ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

収入の部	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
学生生徒等納付金収入	1,018	640	727	880	1,761
手数料収入	10	17	22	40	37
寄付金収入	422	1,100	224	208	290
補助金収入	37	37	37	73	187
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	4	23	14	19	63
受取利息・配当金収入	0	0	0	0	0
雑収入	152	76	48	106	50
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	433	540	717	1,481	1,643
その他の収入	1,433	418	463	522	1,090
資金収入調整勘定	△ 437	△ 450	△ 578	△ 738	△ 1,497
前年度繰越支払資金	1,932	2,200	3,031	2,929	2,655
収入の部合計	5,005	4,602	4,704	5,521	6,280

支出の部	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
人件費支出	572	493	689	638	919
教育研究経費支出	177	158	197	287	570
管理経費支出	285	500	260	223	219
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	6	0	13	1,198	153
設備関係支出	7	196	161	84	122
資産運用支出	290	25	4	0	0
その他の支出	1,453	368	594	583	1,207
資金支出調整勘定	△ 76	△ 169	△ 142	△ 147	△ 156
翌年度繰越支払資金	2,290	3,031	2,929	2,655	3,245
支出の部合計	5,005	4,602	4,704	5,521	6,280

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

科 目	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	1,624	1,867	1,053	1,308	2,345
教育活動資金支出計	1,034	1,006	1,146	1,149	1,709
差引	590	861	△ 93	159	636
調整勘定等	21	222	140	840	171
教育活動資金収支差額	611	1,083	47	999	808
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	11	0	0	0	0
施設整備等活動資金支出計	13	196	174	1,282	276
差引	△ 2	△ 196	△ 173	△ 1,281	△ 276
調整勘定等	0	0	0	△ 61	△ 23
施設整備等活動資金収支差額	△ 2	△ 196	△ 173	△ 1,342	△ 298
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	608	887	△ 127	△ 343	509
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,399	407	444	502	1,115
その他の活動資金支出計	1,667	463	422	434	1,034
差引	△ 268	△ 56	22	69	81
調整勘定等	17	△ 1	4	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 251	△ 56	25	69	81
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	358	831	△ 102	△ 274	590
前年度繰越支払資金	1,932	2,200	3,031	2,929	2,655
翌年度繰越支払資金	2,290	3,031	2,929	2,655	3,245

ウ)財務比率の経年比較

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
教育活動資金収支差額比率	37.6%	58.0%	4.4%	76.4%	34.4%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

科 目		H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	1,018	640	727	880	1,761
	手数料	10	17	22	40	37
	寄付金	411	1,100	224	221	300
	経常費等補助金	37	37	37	73	187
	付随事業収入	4	2	2	1	18
	雑収入	152	76	48	106	51
	教育活動収入計	1,632	1,873	1,059	1,321	2,356
	事業活動支出の部					
	人件費	577	492	695	650	925
	教育研究経費	282	258	322	416	732
	管理経費	309	375	283	247	231
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	1,169	1,124	1,299	1,313	1,888
教育活動収支差額	463	748	△ 240	8	468	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外収入	0	21	12	18	45
	教育活動外収入計	0	21	12	18	45
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	0	21	12	18	45	
経常収支差額	463	770	△ 228	26	513	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	その他の特別収入	11	0	2	0	0
	特別収入計	11	0	2	0	0
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	0	1	0	7	0
	その他の特別支出	0	0	57	0	0
	特別支出計	0	1	57	7	0
特別収支差額	10	△ 1	△ 55	△ 7	△ 0	

基本金組入前当年度収支差額	473	769	△ 283	19	513
基本金組入額合計	△ 301	△ 2	△ 301	△ 134	△ 1,488
当年度収支差額	172	767	△ 584	△ 115	△ 974
前年度繰越収支差額	△ 45	169	937	353	301
基本金取崩額	41	1	0	64	0
翌年度繰越収支差額	169	937	353	301	△ 673

(参考)

事業活動収入計	1,643	1,894	1,073	1,339	2,401
事業活動支出計	1,169	1,125	1,356	1,320	1,888

#### イ)財務比率の経年比較

	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
人件費率	35.4%	26.0%	64.9%	48.5%	38.5%
教育研究経費比率	17.3%	13.6%	30.1%	31.1%	30.5%
管理経費比率	19.0%	19.8%	26.4%	18.4%	9.6%
学生生徒等納付金比率	62.0%	33.8%	67.7%	65.7%	73.4%

※H30 年度より寄付行為上の収益事業を収益事業会計として学校法人会計より分離

#### (2)その他

##### ①主な補助金の状況

(単位：百万円)

内容	施設	金額
私立大学等経常経費補助金	福岡国際医療福祉大学	67
福岡県看護師等養成所運営費補助金	大川看護福祉専門学校	18
修学支援制度授業料減免給付金	福岡国際医療福祉大学	65
福岡県私立専門学校授業料等減免補助金	大川看護福祉専門学校	12
福岡県私立専門学校授業料等減免補助金	柳川リハビリテーション学院	21
合計		183

##### ②収益事業の状況

福岡市中央区長浜において駐車場賃貸、福岡市早良区百道浜においてテナント賃貸をしており、その状況は次のとおりである。

##### 貸借対照表

(単位：百万円)

	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
資産の部				
流動資産	255	261	178	198
固定資産	10	7	6	6
資産の部合計	265	268	184	204
負債の部				
流動負債	2	0	2	4
固定負債				18
負債の部合計	2	0	2	22

純資産の部				
元入金	263	268	181	181
繰越利益剰余金	0	0	1	1
純資産の部合計	263	268	182	182
負債及び純資産の部合計	265	268	184	204

### 損益計算書

(単位：百万円)

科目	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
売上高	76	33	32	55
経費	49	14	13	8
経常利益	27	19	19	47
学校法人繰入支出	21	12	18	45
税引前当期利益	6	7	1	2
法人税等	6	7	1	2
当期純利益	0	0	1	0

### (3) 経営状況の分析

#### ① 決算の概要

当期の学生納付金収入は、国際医療福祉大学福岡看護学部の移管及び福岡国際医療福祉大学の学年進行により学生数が増加し、法人全体では前期比 881 百万円増加の 1,761 百万円となった。学納金を含めた教育活動収入は 2,356 百万円となった。

当期の教育活動における支出は、国際医療福祉大学福岡看護学部の移管及び福岡国際医療福祉大学の学年進行により人件費、教育研究経費が増加し、法人全体では前期比 575 百万円増の 1,888 百万円となった。

上記により、当期の経常収支差額は 513 百万円となった。

当期末における純資産の残高は 9,802 百万円と前期末に比べ 513 百万円の増加となり、財務内容は引き続き健全な状態にある。また現金預金残高は 3,244 百万円となっている。

#### ② 来期以降の見込み

来期の学生納付金収入は、福岡国際医療福祉大学の学年進行等により学生数が増加するため、約 201 百万円程度の増加を見込んでいる。

来期以降については、令和 5 年度から福岡国際医療福祉大学医療学部が私立学校経常経費補助金の受給対象となるため、収支はさらに改善をしていく見込みである。